

令和3年度 全国学力・学習状況調査結果及び分析・対策（松江市立乃木小学校）

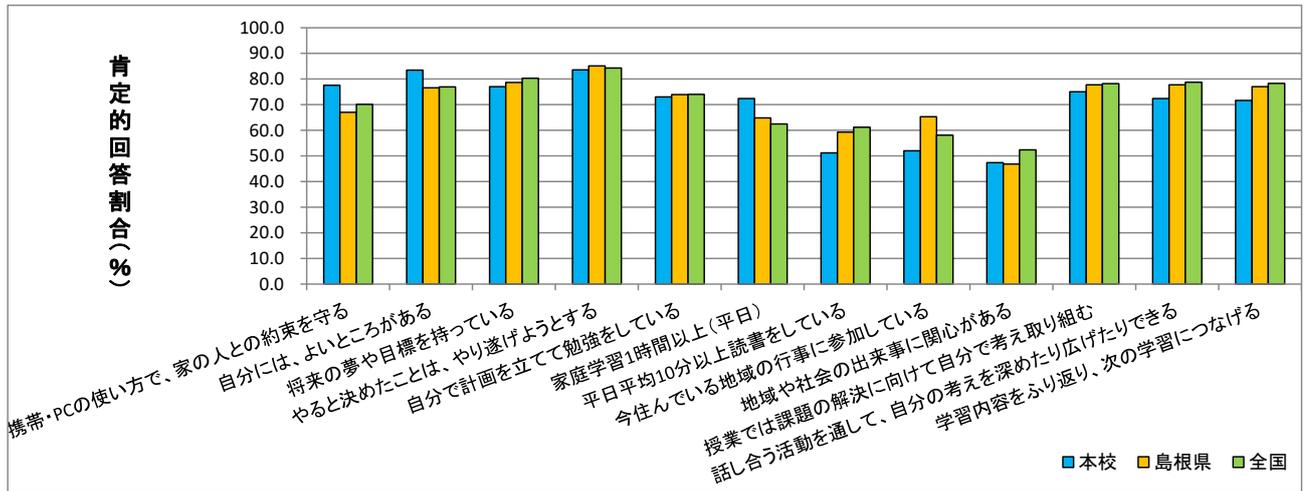
(1) 学力調査結果から見られた傾向

	成果と課題(○: 成果, ●: 課題)	対策
国語	○学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うことができている。 ●目的に応じ、話の内容が明確になるようにスピーチの構成を考えるとことや、目的を意識して、中心となる語や分を見つけて要約することに課題がある。	・話の構成の効果について考えたことを交流する場面を設定し、事実と感想、意見を区別したり、詳しい説明を付け加えたりすることができるようにする。 ・目的に応じて、必要な情報を見付ける学習活動を設定し、文章全体から必要な部分を選び、内容を端的に説明できるようにする。
算数	○複数の図形を組み合わせた平行四辺形について、図形を構成する要素などに着目し、図形の構成の仕方を捉えて、面積の求め方と答えを記述することができている。 ●異種の二つの量の割合として捉えられる数量の比べ方や表し方の理解に課題がある。	・複数の速さを比べる場面を設定し、「どちらが速いですか。」や「どうして速いと分かるのですか。」などと問いかけ、速さを比べることの意味を理解できるようにする。 ・設定した問題に対して、どうすればよいかを考え、意見を出し合う場を持つことより集めるべきデータを判断できるようにする。

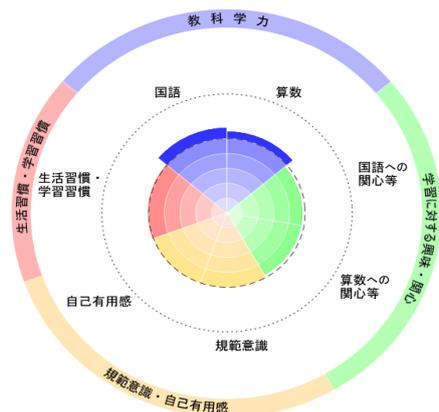
(2) 生活意識調査から見られた傾向

成果と課題(○: 成果, ●: 課題)	対策
○自分には、よいところがあるという自己肯定感が育ってきている。 ○きまりを守るという規範意識があり、携帯・PCの使い方も、家の人と話し合って約束を決め守っている。 ●読書の時間を確保することに課題がある。 ●算数の学習に苦手意識があり、活用しようとする意欲に課題がある。	・読書の時間を確保したり、図書館司書と連携したりして、読書の時間を意図的に確保して本に親しませていく。 ・算数等の学習に対して、少人数や習熟度別の指導形態を工夫したり、魅力ある教材作りに取り組んだりすることによって、一人一人の資質・能力を形成・向上させていく。

(3) 意識調査(学力との相関が指摘されているものや、教育委員会として注目しているものを挙げています)



(4) 学力調査及び生活意識調査から見られた傾向(破線は全国平均)



(5) その他、今後特に力を入れて取り組むこと

・「未来に向かって 命かがやく 笑顔あふれる 乃木っ子の育成」を教育目標として教育活動を展開し、教師・保護者・地域の方の目線で検証をしていく。
・教育研究として取り組んでいる「自ら考え 伝え合い 学びを深める 子どもの育成」の主題のもと、教科等横断的な学習の視点で授業実践や校内研究を通して取り組んでいく。

【受検者数】 152 名

※欠席等により調査によって受検者数が異なる場合は、最少の受検者数をもって表示。